



2015～2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

会長/小野喜明 幹事/度会尚志 会報委員会/廣田 篤・中村嘉輝 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心
 30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう
 30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局/豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第15回 通算1407回 平成27年10月27日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	10/13 修正出席率
		61名	30名	55.6%	100%

ゲスト:(なし) ビジター:メーキャップ5名

★会長あいさつ

小野喜明会長



30周年記念式典・祝賀会、皆さん大変お疲れ様でした。東三河分区のロータリークラブ会長幹事、ライオンズ、

青年会議所、そして台中松竹扶輪社の皆様に対する、会員の心配りというものが大変私にとってありがたいものでした。どうもありがとうございました。

後ほど度会幹事から報告がありますが、台中松竹扶輪社からもお礼の手紙がきております。また祝賀会の時にクラブの記念品交換として頂いた品物を今日お持ちしました。焼き物のようで故宮博物館に飾られている有名なものに色が似ています。

また、祝賀会で豊川工業高校吹奏楽部のアトラクションがありましたが、楽器が減って団員から部活動が存続するかどうかという状態である訴えがありました。蒲郡 RC の鈴木幹事から募金箱の提案があり、至急作ったところ、20万円が集まりました。先週金曜日の23日に豊川工業高校へ寄付をしてみました。また、楽器が足りないということで皆様のところに、もし中古楽器があればご提供を頂けないかという活動もしてまいります。

今回は台中松竹扶輪社が来られましたので、国際交流、国際奉仕について私の考えをお話しさせていただきます。1905年にポール・ハリスがロータリークラブを作った時には「親睦と

奉仕」しかなく、国際奉仕はありませんでした。以前にもお話しましたがその当時日本では日露戦争をしていました。1914年には第一次世界大戦が始まります。アメリカのロータリークラブは国際奉仕の実践として、①出征軍人の慰問、激励 ②人種差別の排除 ③傷病兵の慰問、激励ということを行いました。国際奉仕は戦争と大きな関係があります。その後色々な考えや動きがありましたが、ロータリークラブは団体奉仕ではなく、個人奉仕する人の集団です。国際奉仕も、国と国が国交がなくとも、個人の交流によってそれが政治に影響し、そして必ず国交が成立すると信じて行うのが正しいロータリークラブ活動と思います。国交がある中国と日本では政府間が厳しい状況ではありますが、個人個人の交流によって必ずより良いものになるというのがロータリークラブの考え方です。「ロータリーは一人ひとりのロータリアンの心の中に宿る」という言葉がありますが、その実践を台湾との交流で未永くしたいものです。ありがとうございました。

★幹事報告

度会尚志幹事

例会臨時変更のお知らせ
 秋の行楽の参加のお願い
 台中松竹 RC からの御礼状
 30周年の新聞記事の回覧



★新入会員スピーチ



「自己紹介」

吉田啓尋会員

皆さん、こんにちは。5月からクラブに入会させて頂きました。本日は、貴重なお時間を頂きましたので、自分の自己紹介をさせて頂きたいと思っております。

私は、生まれは大分県の津久見市です。学生時代の話をするとう長くなるので、皆さんに、豊川支店に来る前はどこにいたのかと聞かれます。今の証券会社に入って30年が経ち、ずっとこの業界一筋におります。入社してから、これまでの時代の流れと私のキャリアについてお話をさせて頂きます。

西暦1984年、昭和59年に証券会社に入社し30年が経ちましたが、一言で言うと、最初の15年がジェットコースターのように、その後は、小さなバブルと苦労の繰り返し、この30年です。入社して5年目、89年にバブルの頂点を迎え、その後急落して、ジェットコースターの様でした。後半もITバブルやリーマンショックなどあり、良かったことと、悪かったことの繰り返しでした。

20代で支店の個人営業を2店舗経験しました。最初が四国の松山支店の配属でした。30代は東京へ行きまして、金融機関を相手にする法人営業を担当しました。30代後半に、支店長に任命され、この豊川で5店舗支店長を経験しています。途中、本社の営業本部などを経験しております。直近は人事部におりました。

現在の日経平均株価は19,000円ぐらいです。私が入社した時の日経平均は10,000円でした。それまで10,000円になったことはなく、ようやく10,000円に到達したのが84年でした。それから5年後の89年の年末に日経平均は38,915円でした。1万円で入社して、5年後に約4万円になりました。その間にブラックマンデーのような少しショックはありましたが、とにかく株価が4倍になり、会社も潤ったし、景気も良かったし、株も給料もボーナスも不動産も上がり続けるものだと思いがら過ごした5年間でした。

個人営業を四国松山支店でやっていた時のエピソードをお話します。あるお寺の住職さんがお客様で、正月にダルマを用意して、片目だけ入れます。利益の目標1千万で、1千万円儲かったら、もう片目を入れる。それをずっとされている方で、年に1千万儲ければ良いと言われていました。そのお客様が、5年の間は2つ目、3つ目、4つ目と1年にダルマが増え続ける時代でした。

また、不動産業のお客様のお話で、広島のお金持ちは松山はまだ土地が安いから、市の中心部で300坪から500坪まとめて手配してくれと、現地を見ずに買いに来ている。今日うちに契約して印鑑を押さないと、明日には他の方が買ってしまう。だから忙しくてしょうがないと言われていました。

社内の出来事では、会社の女子社員が、ボーナスの話の家で話したら、お父さんがガックリされたそうです。2年目の女子社員が、公務員のお父さんのボーナスを抜いているのです。青山支店の支店長がボーナスで、キャッシュで高級車を買ったらしいというウワサや居酒屋へ行かず、小料理屋や回らない寿司屋に行く先輩たちを見て、自分もあと2年後、3年後、4年後になったら、こんな生活ができると思っていました。しかし、その時は、数年後に居酒屋しか行けない、回る寿司屋しか行けない、そんな時代が来るとは思っていませんでした。

89年の年末から株価は急落して行きました。翌年の2万円、その翌年1万8千円、1万5千円となり、株価は下がり続けます。

極めつけは、97年の山一証券が倒産したことでした。いよいよ不良債権が処理できない、銀行も拓銀がつぶれ、りそな銀行が実質公的な立場になるという事で、相場は落ち着くわけです。週刊誌に余命何ヶ月の会社という特集が出まして、うちの会社も余命後何ヶ月が出ていて、同期と来年までうちの会社があるのかなあ〜と話をしました。そんな不安な思いをしたことを今でも覚えています。

その後は、ITバブル、リーマンショックなどで上がったり、下がったりです。皆様方も実際に株をされている方は、ご自身の事ですので良く覚えていらっしゃると思います。

私の経験から相場の格言を申し上げます。「あたりにやつけ」という言葉あります。相場が当たっている人間についての方が良いということです。私がいつも頭に置いている言葉

は「もうはまだなり、まだはもうなり」です。もう大丈夫かと思うとまだがある、逆にまだ下がるかなと思うともうが来て底を打つということがあります。一方方向に考えを片寄るのは良くないという教訓です。株を見る時は常に頭に入れていますが、人の人生も同じだと思っています。ご清聴ありがとうございました。

「海外出張こぼれ話」

松林秀佳会員



こんにちは。去年の10月に入会しました。今回、新入会員スピーチをさせていただきます。

会社に入

社して、22,3年になります。その間に50数回、海外出張をしております。何ヶ国行ったのか調べたら32ヶ国に行っていました。プログラム委員長の大島さんから、海外の面白い話をよとされたので、今日はそのお話をさせていただきます。

ギリシャ、中東に出掛けた時で、エジプトの話をさせていただきます。3年前に行きました。参加メンバーの中に、国際橋梁構造工学協会（IABSE）の日本代表で、国際協会の理事されており、毎年国際大会に出席するついでに、橋の技術屋さんを連れて、世界の橋を見学して、日本の将来の建設技術の発展の為に勉強させたいということで、行くことになりました。出張中に私がやっていたことは、ほとんど添乗員でした。チェックイン、モーニングコール、皆さんに鍵を渡して、朝食会場の案内をする、夕食のレストランの予約をしていました。浮いた添乗員の費用で、大学の先生を連れて行くというツアーでした。

エミレーツ航空でドバイを経由してエジプトのカイロへ向かいました。エジプトと言えば、ピラミッドとスフィンクスです。が、実際にはスフィンクスは小さいです。ピラミッドは、砂漠の中でなく緑の街の中にあるのです。意外と雑誌やテレビに騙されていることに気づきます。

アラブの春が2011年にありました。タハリール広場に群衆が押し寄せて、デモ、暴動、

政府機関に火をつけて、博物館から金目のものが盗まれました。現地の人に聞くと、火をつけたのは政府関係者だそうです。自分の証拠を隠すためにやったのだそうです。3年前の行った時の2週間後に初めての大統領選があるということで、お土産やの若者が「日本みたいになるんだ」と言っていました。街には活気があります。夜も活気があり、イスラム国家なので、お酒は飲めません。

本題に入ります。今回、スエズ運河を調査して参りました。シナイ半島は、エジプトとイスラエルが取り合いをしているところです。アラビアのロレンスという映画の舞台になった地域になります。スエズ運河を横断するには3か所あります。道路橋、鉄道橋、トンネルです。すべて軍事施設で軍隊が警備しています。写真撮影禁止ですが、写してきました。



まずトンネルです。アハメドハムディトンネルと言います。1983年開通、シールドトンネル、全長1630m、外径11.6mです。イギリスが掘りましたが、2年後に漏水しました。エジプトはオランダに調査を依頼しましたが良く分からず、同時に日本の会社にも調査を依頼し、1992年に改修をしました。この費用はODA（政府開発援助）日本のお金で改修しました。この当時、東京湾横断トンネルを進めていたので、参考にしたそうです。



次に鉄道橋です。エルフェルダン鉄道橋と言います。橋長640m、支間150+340+150m、高さ60m、幅員12.6m。1963年ドイツによってつくられ、1967年の第3次中東戦争でイスラエル軍によって破壊されました。橋

には回転するために、ギアがついています。現在の橋は、2001年にドイツを中心にベルギー、エジプトとの合弁企業によって、旧橋と全く同じ構造の橋を再現しました。ドイツ人技術者のロマンを感じさせてくれます。



日本エジプト友好橋

もう一つの橋が日本エジプト友好橋です。この橋もODAです。完成は2001年10月。鋼斜張橋（主経間部）橋長730m、163+404+163m、両端部に三角形のフェアリングを有する流線型断面（幅10m、高さ2.34m）鉄筋コンクリート構造（高さ154m）取付部は連続PCラーメン。この橋は軍艦が通り、空母も豪華客船も通るため高さが必要で70mあります。この橋には様々な名称があります。スエズ運河橋、ちょっと前はムバーラク平和橋、今はサラーム橋といいます。日本エジプト友好橋というのがメインの名前だそうです。

橋の中央部には日本の国旗もありました。この橋は車だけでなく、いざという時には戦車や兵士をシナイ半島に運びます。これから中東戦争でイスラエルが攻め込むとすれば、この橋を空爆します。ですが、空爆は出来ません。日本はアメリカと同盟国で、橋を落とすと運河が通行できなくなって世界から非難されます。日本のODAが平和に貢献しているということです。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

- 松林秀佳会員 新入会員スピーチをします
- 吉田啓尋会員 //
- 石黒貴也会員 誕生日を祝って頂き
- 細井 勉会員 //
- 金田 柁宏会員 結婚記念日を祝って頂き

★ロータリーニュース

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。

今月10月は米山月間です。米山親善大使について紹介します。

よねやま親善大使は、ロータリーや一般社会で米山記念奨学事業のPRをし、理解を深める活動をしています。

2015-16年度は40人の学友・奨学生から応募があり4人の親善大使が活躍中！「米山への認識が変わった（ロータリアン）」「先輩のように頑張りたい（現役奨学生）」と、大変好評です。地区大会や米山セミナーなどの卓話に、ぜひお呼びください！当会のホームカミング制度を使って招待していただくことも可能です。

よねやま親善大使招へいに関するご相談は、米山記念奨学会事務局広報担当（峯・野津）まで。電話：03-3434-8681（平日9:00～17:00）

メール：highlight@rotary-yoneyama.or.jp

2015-16年度 よねやま親善大使

2015-16年度は、第3期よねやま親善大使として、現職上級生奨学生4名が活躍しています。よねやま親善大使はロータリーや一般社会で米山記念奨学事業のPRをし、理解を深める活動を行っています。米山記念奨学会で2015年度の奨学生、ぜひお呼びください！よねやま親善大使招へいに関するご相談は、米山記念奨学会事務局広報担当（峯・野津）まで。

会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員